

みやぎ津波防災月間

津波による人的被害は、日ごろから防災意識を持つことにより防ぐことが可能です。
宮城県では、今後高い確率で発生が想定される宮城県沖地震による津波に備えるため、5月を“みやぎ津波防災月間”として定め、官民一体となった様々な取り組みを行い、県民の防災意識の高揚に努めます。

月間中の主な取り組み

津波防災パネル展

- 日時：5月1日（火）～5月11日（金）
- 場所：県庁1階ロビー



昭和三陸津波 唐桑 大澤海岸

津波防災訓練

- 日時：5月24日（木）
- 場所：南三陸町志津川

5月24日午前8時15分



昭和35年5月24日
チリ地震津波 志津川町の浸水状況

「津波防災シンポジウム」の開催

テーマ：

《命を守る防災教育,未来の防災戦士たち》

- 日時：5月26日（土）午後1時～午後4時
- 場所：気仙沼公民館（定員400人）
- 基調講演
東北大学大学院 今村文彦教授
- 防災教育の取り組み
気仙沼市立階上中学校
- 事例報告
浦島小学校,面瀬中学校,中井小学校

津波防災教育教材とパネルの展示

主催／宮城県 共催／気仙沼市

津波防災ウォッチング

- 日時：5月14日（月）
～5月25日（金）

《閉じた？ 閉めた！ 津波のとおりみち》



地震だ！ 津波だ！ すぐ避難！！